

書窓

Shoso

No.433

2021.6

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鰯
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 91

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ふしぎな 500 のぼうし

ドクター＝スース さく・え
わたなべ しげお やく (偕成社)

ある日、町に王様の行列がやって来ました。バーソロミューは帽子を取りましたが、王様が「帽子を取れ！」と怒り出します。なんと頭にはまだ帽子がのっけていて、いくら取っても次の帽子が出てくるのです。バーソロミューは捕えられ、城へ連れて行かれました。博士や魔法使いなどが呼び出されましたが、次々出てくる帽子を誰も止めることはできませんでした。

王様の前で帽子を取らなかったバーソロミューは、塔の上から突き落とされることになりました。階段を登りながら帽子をもぎ取っていると、451番目から帽子の形が変わり始め、どんどん見事になっていきました。塔の上に着いた時、バーソロミューのかぶっていたのは、大きなルビーと立派な羽根のついた 500 番目の帽子でした。

帽子だけが赤く色付けられた白黒の絵は印象的で、どんどん出てくる帽子と表情豊かに動き回る登場人物たちをユーモラスに描いています。読んでもらえば 5 歳くらいから楽しめます。(池之上)

イギリスとアイルランドの昔話

石井 桃子 編・訳 J・D・バトン 画
(福音館書店)

アイルランドの大男クークランは、国中の力自慢の大男をぶちのめし、残る相手はフィン・マカウルだけとなりました。

フィンはいアイルランドからスコットランドへ橋を架けようとせっせと働いていましたが、クークランがやってくると聞くと急ぎ家へ帰ります。賢い女房のウーナは鉄板の入ったパンを焼くと、フィンを赤ん坊に仕立ててゆりかごに寝かせました。やってきたクークランはパンを一口かじるなり、うめき声を上げ歯が欠けたと叫びましたが、そのパンを赤ん坊が平気で食べるのを見て、フィンに会うのが恐ろしくなってきました。(「大男フィン・マカウル」)

よく知られる「三びきの子ブタ」「ジャックとマメの木」などを生んだイギリスとアイルランドの昔話集。編者の豊富な経験をもとに、子どもたちに手渡したい再話が厳選されており、不思議さや怖さ、爽快さを味わえます。読んでもらえば 4 歳くらいから楽しめます。(西村)

6月	7月	6・7月の移動図書館 (いずれも木曜日です)					<p><お知らせ> 緊急事態宣言発令に伴い、期間中の行事を中止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 絵本の時間 ● おはなしの時間 ● 紙バッグ工作教室 <p>宣言が解除され次第、再開する予定ですが、状況により変更する可能性があります。再開日は決まり次第、館内掲示又は図書館ホームページにてお知らせします。</p> <p>ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
10日	8日	塚森 地域内 10:30～ 10:50	沖代 地域内 11:00～ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50	
17日	15日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区 農村交流センター 16:00～16:20	
24日	22日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～16:20	

『 気候で読み解く人物列伝 日本史編 』 田家 康 著

日経BP日本経済新聞出版本部 258頁 2021年2月刊 1,800円 (請求記号) 451.8

地球に生きる限り人類は気候変動と無縁でいることはできない。紀元9年、ローマ帝国がライン川を越えてゲルマン地域を植民地化するために侵略を試みた。だが、突然の雷雨を恐れたためゲルマン諸侯の軍隊に敗れてしまう。それ以後2000年近く、ヨーロッパの西部と中部はライン川で政治的・文化的に分断されることになった。このように気候変動は時代の流れを大きく変え、その時代に生きる人々の運命も変えてきた。

日本史に目を向ければ、天正3(1575)年5月21日(現在の暦では7月9日)、織田信長軍が武田勝頼軍に勝利した。信長が当時では異例の3000丁もの鉄砲隊を構成し、歴戦の武田騎兵隊を撃退したとして名高い長篠の戦いである。だが、気象の観点で見れば、この時期は梅雨の最盛期である。信長は、なぜこの時期に大量の火縄銃を用いる作戦で勝利できたのか。奈良興福寺の日記によれば、天正3年は8回も「折雨」の記述が見られる。つまり雨乞いの祈禱をしなければならぬほどの空梅雨であったらしい。また筆者は、樹木年輪から夏の気温を測定する研究を引用し、天正3年は気温が高めで日照時間も長かったと推測している。その上、信長には戦いに備えて鉄砲や物資、人足を用意できる豊かな経済力があった。信長が武田軍に圧勝できたのは、信長が空梅雨という運までも味方につけたからだろう。

本書は、日本史の著名な人物の運命を変えた気候変動の謎を規模・時間のスケール順に解明している。桜の花見の日付による気温測定、年輪や堆積物から推定した寒暖・乾湿や海面水位。緻密なデータと豊富な資料から導かれた結論には、歴史が自然科学と人文科学の融合された学問であると再認識させられる。科学の進歩とともに様々なことが明らかになっていくだろう。これからはますます歴史が面白い。(八木)



6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		X	2	3	4	5
6	7	X	9	10	11	12
13	14	X	16	17	18	19
20	21	X	23	24	25	26
27	28	X	X			

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	X	7	8	9	10
11	12	X	14	15	16	17
18	19	X	21	22	23	24
25	X	X	28	29	X	31

* X印は休館日
(7/26は祝日の振替、6/30、7/30は館内整理日)

* 開館時間は
10:00~18:00、
金曜日は20:00まで開館



地下水

例年に比べて梅雨の訪れが早く、毎日のように雨が降り続けている。湿度も高くなり、ジメジメとした空気が体にまとわりつく季節に突入した。人にとっても、本にとっても厄介な時期だが、生き物にとっては過ごしやすいようで、雨音に交じってカエルの鳴き声が響き渡り、様々な虫の姿が見られるようになった。特に5月から6月にかけては、ムカデが活発になり、図書館に侵入してくることがある。

そんな厄介者のムカデだが、今年に入って143年ぶりに新種が発見されたことをご存じだろうか。沖縄で見つかった新種のオオムカデは、「リュウジンオオムカデ」と名付けられ、体長は20cmにもなる日本最大級のムカデになる。体は美しい翡翠色で、水中でも生活できるという、非常に珍しい特徴を持っている。

ムカデと聞くと、「怖い」、「気持ち悪い」といった印象を抱く方もいるだろう。しかし、遠ざけずに踏み込んで調べてみると、意外な発見や、新しい楽しみが見いだせるかもしれない。近い将来、図書館に所蔵される図鑑にリュウジンオオムカデの姿が載るのが、今から楽しみである。(光藤)